

シグマ専門委員会幹事会記録

2月20日(1100~1300) 於原産会議室

議題 "The International Nuclear Data Scientific Working Group" に参加の件

出席者 百田, 安, 立花, 高橋, 野沢, 小川, 中島, 大野各委員

野沢幹事より本委員会にこの問題が持込まれた経過について説明があり, 手紙SC/521-1のみでは会合の詳しい内容がわからないが, 高橋幹事よりのBNLにおける様子また中島委員よりのNBSのWay氏よりの情報などを総合討論の結果, 次の結論に達した。なお, 期日は来る6月頃, 約1週間の予定, 費用は全額IAEA負担の由である。

- (1) 取上げる対象は原子核全般の核定数であるのか, あるいは炉に直接関係のあるもののみに限定するのか明確ではないが, 本委員会との関係もあり, 日本からも参加すべき会合であると判断する。
- (2) 対象が明確でなく, また会合の内容についても不明であるので, 人選については, これらの点を明確にした上で, 例えば学術会議原子力特別委員会などに諮るということも考えられるが, 時間的余裕がないので, initial meeting では様子をみる意味で全般的に明るい人として, 百田光雄氏を幹事会の責任において推薦する。
- (3) なお, 会議の性格上かなりの苦勞が察せられるので, 出来うれば更に1名, 費用日本持ちで参加出来るかどうかを検討してみる。
- (4) この会合の日程, 議題ならびに外国からの参加予定者などの詳しい情報を正式ルート(原子力局→外務省→オーストリア大使館→IAEA)によ

り問合せてもらい、また、高橋幹事ならびに中島委員にはBNLの
Kouts氏およびN~~AS~~^{AS}のWay氏にそれぞれ個人的に問合せの労を願う。

- (5) これらの結果を総合し、広く関係ある方々に知らせて、各方面の意見希望などを取まとめ、会合に持参していただく。
- (6) 以上のことは3月2日に予定されている第2回シグマ専門委員会において了承を願う。

以 上